

報道機関各位

担 当 社会教育課 文化・文化財担当

TEL/FAX 0942-65-3360

E-MAIL syakai@city.chikugo.lg.jp

さんしか
山榎窩祭



■名 称 山榎窩祭（主催：山榎窩保存会 事務局：筑後郷土史研究会）

■日 時 令和 8 年 5 月 17 日（日）10：00～

■場 所 筑後市大字水田 242 番地 1、2 山榎窩

■経 緯 眞木和泉守保臣は文化 10 年（1813）久留米水天宮神職の家に生まれた、倒幕論の先駆者。嘉永 5 年（1852）久留米藩の政変により、実弟である水田天満宮神職大鳥居理兵衛のもとへ蟄居謹慎の命を受ける。翌年、山榎窩が建てられ、約 10 年間の蟄居生活を送った。山榎窩では読書や執筆、志士らとの交流を通じ、将来の日本の姿を案じた。また、近隣の子どもたちに寺子屋教育を行うなど郷土の志士を育てた場所として、萩の松下村塾と双璧をなす。

昭和 43 年（1968）に山榎窩保存会によって旧状に復元され、翌年、県の文化財（史跡）に指定されている。

山榎窩は「くちなしのいえ」とも読み、「藩政に口を出さない」との意味が込められている。

■内 容 久留米藩から蟄居謹慎の命を受け、筑後（水田）に来た日である、5 月 17 日に因んで眞木和泉守保臣と五十名の志士を顕彰し、神事を行う。また、水田幼児園児による「眞木和泉守のうた」、筑後南小学校児童による「眞木和泉守についての発表」がある。